

部分床義歯補綴学実習Ⅰ

責任者名：安田 裕康

学期：前期

対象学年：4年

授業形式等：実習

◆担当教員

安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 助教)
石上 友彦(特任教授)
青山 芳博(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小豆畑 拓夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
宇美 隆生(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
内田 耕司(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
大野 繁(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
岡田 信夫(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
北村 晃一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
小林 公(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
澤野 宗如(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高村 昌明(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
豊田 潤(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中臺 一介(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
藤本 俊輝(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三井 安治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
三橋 裕(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
森川 正朗(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
伊藤 顕治(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
永井 栄一(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
中林 晋也(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
眞田 淳太郎(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)
高橋 侑子(歯科補綴学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

歯列欠損患者の治療方法の1つとしての部分床義歯製作法を修得する。部分床義歯を製作するために、その製作過程の中でのスタディモデルの製作、前処置としてのレストシートおよびガイドプレーンの形成、精密印象採得などの臨床術式、咬合採得などの臨床術式、および個人トレーの製作、作業用模型の修正（マーキング）、耐火模型の製作、

維持装置の製作、人工歯排列、レジン填入、重合、部分床義歯の研磨の技工操作を理解する。また部分床義歯を完成し、顎模型への装着までの臨床操作を理解し、それらに関連する知識を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- 1) 部分床義歯製作における、器材および材料の使用方法を説明できる。
- 2) 欠損形態の分類とその特徴について述べるができる。
- 3) 研究用模型を用いた部分床義歯の設計手順を述べるができる。
- 4) サベイングの目的とサベイヤーの使用法について述べるができる。
- 5) 部分床義歯特有の個人トレーおよび咬合床の製法を説明し、行うことができる。
- 6) 半調整性咬合器の原理を説明し、使用できる。
- 7) 支台装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 8) 連結装置の種類、製作方法、機能および適応について述べるができる。
- 9) 人工歯の種類、機能および適応について述べるができる。
- 10) 義歯床用レジンの種類、重合方法、適応について述べるができる。

◆評価方法

本教科の成績評価点は、平常時に行っている課題レポートの完成度 (80%) および前期実習中に行う平常試験 (20%) を加えて評価する。なお、平常時に行う課題レポートに対しては、提出後に、不足している知識についての実習時間内にフィードバックを行う。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
安田 裕康	17:00~18:00 (火曜日) 歯科補綴学第II講座 (本館5階)	03-3219-8144	

◆授業の方法

実習は5月19日 (全14回、8/4,11,18は午後1時50分終了) から行われ、基本的に第5実習室で7班に分かれて進行し、レストシート形成などは第4実習室を使用する。それら課題に対して積極的に実習講義を受け、レポートを担当教員に評価をしてもらう。

【実務経験】

安田裕康：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院局部床義歯科での臨床経験等の話しも交えながら、歯科臨床現場において本教科で学ぶ内容の理論や主に実技がどのように実際に活用されるかについて、わかりやすく解説し、適切な実技を学ぶ場を提供したいと考えています。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
実習書	部分床義歯補綴学実習書	日本大学歯学部歯科補綴学 第II講座編		2020

◆DP・CP

[DP-1]コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンス：医の尊厳を理解し、法と論理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP-4]コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンス：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-5]コンピテンス：挑戦力

コンピテンス：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

[DP-8]コンピテンス：省察力

コンピテンス：プロフェッショナルとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP - 1]歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP - 3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断力を育成する。

[CP - 4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な観点で問題を解決する力を養成する。

[CP - 5]研究で明らかとなる新たな知見と研究マインドをもとに、歯科医学の課題に挑戦する学生を育成する。

[CP - 8]各学年における学修で得た歯科医学の知識、技術および省察力をもとに、歯科医師として生涯にわたる学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に実習書を読み、実習前講義の説明内容を理解しておくこと。

本実習の最終日に試験を行う為、それまでに十分に学習すること。

◆準備学習時間

毎回の実習前に実習書に記載された事項に対して、予習として実習書を読んでから実習に臨むこと。

◆全学年を通しての関連教科

歯科理工学Ⅰ（2年後期）

歯科理工学実習Ⅰ（2年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

歯冠補綴学（3年後期）

歯冠補綴学実習（3年後期）

咬合学概論（3年後期）

架橋義歯補綴学（4年前期）

部分床義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

架橋義歯補綴学実習（4年前期）

総義歯補綴学Ⅰ（4年前期）

顎機能治療学（4年前期）

顎機能分析学（4年後期）

顎機能分析学演習（4年後期）

総義歯補綴学実習（4年後期）

部分床義歯補綴学Ⅱ（4年後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ～ 3		5.19	1 ～ 3	1. 顎歯型の点検 2-1. 上顎研究用 模型の製作 1)顎歯型の印象採 得 2)石膏注入 (教)pp.1-5 2-2. 下顎研究用 模型の製作 (教)pp.6-9	・義歯製作にあたって、当該症例 (顎歯型)の咬合状態を調整する必 要性と方法を学ぶことができる。 ・義歯製作にあたり、診査・診断お よび治療計画や義歯の設計を行うた めに、研究用模型を製作することを 理解することができる。 ・既製トレーを用いて、概形印象採 得法を学ぶことができる。 ・上下顎模型のトリミングを行い、 平行模型の必要性と製作法を学ぶこ とができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯(部 分床義歯、全 部床義歯)① 歯の欠損、顎 骨・顔面の欠 損に伴う障害 の種類と病態 を説明でき る。①歯の欠 損、顎骨・顔 面の欠損に伴 う障害の種類 と病態を説明 できる。
4 ～ 6		5.26	1 ～ 3	3. サベイヤーの 使用法 (教)pp.11-16 4. 義歯の設計 (教)pp.17-24	・サベイヤーの目的およびサベイヤ ーの使用法、付属品の名称を理解す ることができる。 ・支台装置の機能について学ぶこと ができる。 ・レスト座の設置位置、ガイドプレ ーンの目的とその働きを理解するこ とができる。 ・金属床義歯とレジン床の違いを理 解することができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯(部 分床義歯、全 部床義歯)
7 ～ 9		6.2	1 ～ 3	5-1. 個人トレー の製作 (下顎のみ) (教)pp.25-27	・トレーレジンの操作性について学 ぶことができる。 ・各個トレーの利点および製作法に ついて学ぶことができる。 ・トレーの外形線、ストッパーの位 置、トレーの柄の形態などについて 学ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯(部 分床義歯、全 部床義歯)
10 ～ 12		6.9	1 ～ 3	6. 前処置 1)形態修正 2)ガイドプレーン	・義歯の設計に必要な残存歯の前処 置法、および支台歯の前処置法を学 ぶことができる。	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯(部 分床義歯、全

				の形 成 3)レスト座の形成 (教)pp.30-45			部床義歯)
13 ～ 15		6.16	1 ～ 3	7. 作業模型の製作 1)顎模型の精密 印象採得 (教)pp.47-48 7. 作業模型の製作 2)石膏注入 (教)pp.49-50 8. 設計線の描記 (教)pp.51-52	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人トレーを用いた精密印象採得法を学ぶことができる。 ・ 部分床義歯製作のための作業用模型の製作法を学ぶことができる。 ・ 作業用模型のトリミングの必要性と方法を学ぶことができる。 ・ 作業用模型上にサベイングし、設計を描記する方法と目的を学ぶことができる。 ・ 金属床義歯のフィニッシュラインを理解することができる。 	月村 直樹 大谷 賢二 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)
16 ～ 18		6.23	1 ～ 3	9. 咬合床の製作 (教)pp.53-56 10. 咬合採得と咬 合器装着 11.作業用模型の修 正 1)ブロックアウト 2)リリース (教)pp.57-70	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎床と咬合堤を製作する目的およびその方法を学ぶことができる。 ・ ジグを使用し、上顎模型の装着を学ぶことができる。 ・ 咬合採得の目的と方法を学ぶことができる。 ・ 咬合器に下顎作業用模型を装着する方法を学ぶことができる。 ・ ブロックアウト、リリースの目的および方法について学ぶことができる。 	安田 裕康 大谷 賢二 大山 哲生 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)
19 ～ 21		6.30	1 ～ 3	11. 作業用模型の 修正 3)マーキング 12. 耐火模型の製 作 (教)pp.71-80	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支台歯の鉤腕下縁部 (エーカース鉤, コンビネーション鉤) にマーキングを行い, その目的と方法を学ぶことができる。 ・ 修正した作業用模型を印象採得し, 模型用埋没材で耐火模型を製作する目的と方法を学ぶことができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)

22 ～ 24	7.7	1 ～ 3	<p>13.支台装置の製作 34 のコンビネーション鉤の屈曲 (教)pp.81-84</p> <p>2.支台装置の製作 34 の コンビネーション鉤のワックスアップ (教)pp.85-88</p> <p>3. 支台装置の製作 37 のエーカーズ鉤のワックスアップ (教)p.89</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビネーション鉤の特徴, 構成, 走行および概形を理解することができる。 ・コンビネーション鉤の頰側維持腕(線鉤)の屈曲の技術を修得することができる。 ・コンビネーション鉤の各構成部分の働きを理解し, 製作法を修得することができる。 ・レスト, 拮抗腕, 鉤脚のワックスアップと, 維持腕の線鉤を加えたコンビネーション鉤のワックスアップの技術を修得することができる。 ・レスト付二腕鉤のワックスアップ法の術式を修得することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)
25 ～ 27	7.14	1 ～ 3	<p>14.支台装置の製作 34 および 37、鉤 の埋没 (教)pp.90-93</p> <p>15. 支台装置の製作 34 および 37、鉤 の鑄造 (教)pp.94-96</p> <p>16. 支台装置の製作 34 および 37、鉤の 試適・研磨 (教)pp.97-99</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エーカーズ鉤およびコンビネーション鉤の型ごと埋没法の術式を修得することができる。 ・型ごと埋没法について, 他の埋没法との相違を理解することができる。 ・埋没した支台装置のワックス焼却方法および鑄造法を修得することができる。 ・鑄造体の作業用模型への試適および研磨法の技術を修得することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)
28 ～ 30	7.21	1 ～ 3	<p>17. 支台装置, 連結 装置の作業用模 型への固定 (教)pp.105</p> <p>8.人工歯排列 1) 46 および 47 の 人工歯排列 (教)pp.107-110</p> <p>8. 人工歯排列</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作した支台装置を作業模型上に試適し, 鉤腕の形態修正および適合性について理解することができる。 ・金属床義歯の適合調整を修得することができる。 ・支台装置の咬合調整の目的を理解し, その技術を修得することができる ・インサイザルガイドピンを調節することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯 (部 分床義歯、全 部床義歯)

				<p>2) 35 および 36 の人工歯排列 (教)pp.111-113</p> <p>9. 歯肉形成 (教)pp.115-118</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯における人工歯排列の基礎的事項を学ぶことができる。 ・人工歯の選択基準および排列基準を理解することができる。 ・歯肉形成の審美性、機能的形態の目的および方法を理解することができる。 ・床縁および義歯研磨面の形態について学び、その技術を修得することができる。 		
31 ～ 33	7.28	1 ～ 3	<p>18. 一次埋没 (教)pp.119-125</p> <p>19. 二次埋没、三次埋没 (教)pp.126-128</p> <p>20. 流ろうおよびレジン填入・重合 (教)pp.129-136</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ろう義歯の埋没について、目的、方法および注意事項を理解することができる。 ・フラスクへの埋没前の試適と模型の調整法の術式を修得することができる。 ・フラスクへの埋没法（一次埋没）について修得することができる。 ・フラスクへの埋没法（二次埋没、三次埋没）について修得することができる。 ・流ろうの目的を理解し、操作術式を修得することができる。 ・レジン填入の前準備、レジンの混和および填入法の術式を修得することができる。 ・レジンの重合法について術式を修得することができる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）	
34 ～ 37	8.4	1 ～ 4	<p>21. 取り出し、あら研磨、最終研磨 (教)pp.137-144</p> <p>22. 部分床義歯の義歯床内面の調整 (教)p.145</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重合した義歯のフラスクからの取り出し方法、石こう塊の分割法などの技術を修得することができる。 ・義歯の取り出し方法について、その技術を修得することができる。 ・取り出した義歯のあら研磨と保管方法について修得することができる。 ・最終研磨法について、その技術を修得することができる。 ・義歯粘膜面の調整の目的およびそ 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可 撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）	

					の方法を修得することができる。		
38 ～ 41		8.11	1 ～ 4	23. 部分床義歯の咬合調整・顎模型へ部分床義歯の装着	<ul style="list-style-type: none"> ・咬合調整の目的および意義を理解し、その方法を修得することができる。 ・顎模型への装着の方法を修得することができる。 	月村 直樹 大谷 賢二 秋田 大輔	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）
42 ～ 45		8.18	1 ～ 4	24. 前期実習の調整および平常試験	<ul style="list-style-type: none"> ・前期実習の進行状況を確認し、後期実習に繋げるための準備を理解することができる。 ・前期実習の履修項目に関する理解度の試験を行い、理解度を確認できる。 	部分床義歯 補綴学実習	E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
部分床義歯補綴学実習	804	永井 栄一
	1373	中林 晋也
	2646	伊藤 顕治
	3082	眞田 淳太郎
	3000272	青山 芳博
	3000273	宇美 隆生
	3000274	岡田 信夫
	3000275	北村 晃一
	3000276	小林 公
	3000277	中臺 一介
	3000280	藤本 俊輝
	3000281	三井 安治
	3000282	三橋 裕
	3000284	森川 正朗
	3000285	澤野 宗如
	3000287	高村 昌明
	3000288	大野 繁
	3000289	小豆畑 拓夫
	3000290	内田 耕司
	3000292	豊田 潤
	3000603	高橋 侑子
	5000005	石上 友彦
	1195	大谷 賢二
	1206	月村 直樹
	1239	大山 哲生
	2696	秋田 大輔
	2969	安田 裕康

